

News Release

2017年12月15日

民間人材サービス業界初！中途採用の年収相場がわかる

『転職賃金相場 2017』リリースのお知らせ

民間人材サービスの業界団体からなる人材サービス産業協議会（東京都港区、理事長：水田正道、略称「JHR」）は、このたび、主要な人材紹介事業者ならびに求人メディア企業のご協力のもと、2017年4～9月の主要な職種における求人企業が提示した年収相場をとりまとめた『転職賃金相場 2017』をリリースしましたのでお知らせします。

『転職賃金相場 2017』は、主要な人材紹介事業者と求人情報提供事業者が業界を横断し調査した人材サービス業界初の取り組みです。求人企業の皆さまには、より良い人材を確保するために必要な年収の目安として、求職者の皆さまには、提示された年収が適正かどうかを判断する目安として、ご活用いただけるものと考えております。

『転職賃金相場 2017』

～ポイント～

- ・幅はあるものの、職種ごとの相場は一定程度存在している。
- ・求められる経験や担当する業務内容に幅があるホワイトカラー系職種は、技術系職種に比べて提示される年収の幅も大きい傾向にある。
- ・ほぼ全職種において、600万以上はマネジメント業務であり、経験も必須である場合が多いが、技術系職種では、高年収層でも管理職ではない場合も多い。
- ・400万円未満になると未経験が多くなり、第二新卒も多くなる。
- ・高年収になるほど年齢層も高くなるが、ビッグデータ・データサイエンティストは他職種に比べて年齢層が10歳程度若い。
- ・法務の高年収層では、メーカーでの知的財産や特許の専門家として理系人材のニーズも高い。
- ・経理財務など企業に共通して存在する職種の高年収層では転職回数が多い傾向にある。



『転職賃金相場 2017』は、当協議会WEBサイトからどなたでもダウンロードしてご覧いただけます。

<http://j-hr.or.jp/newsrelease/10535>

今後は年1回の発行を予定しており、次回は2018年12月に公表予定です。

■一般社団法人人材サービス産業協議会(JHR)について

当協議会は、国内の人材サービス関連業界 5 団体の横断・連携機関です。職業紹介、人材派遣、業務請負、求人広告などビジネスモデルの枠を超えて、雇用構造の変化や労働市場の新たな要請に対応し、労・使・社会のすべてにとって望ましい「健全かつ円滑な次世代労働市場の創造」を目指した取組みを推進しております。

■『転職賃金相場 2017』に関するお問い合わせ先

一般社団法人 人材サービス産業協議会事務局
川渕香代子 E-Mail: kayoko.kawabuchi@j-hr.or.jp

■報道関係者各位のお問い合わせ先

一般社団法人 人材サービス産業協議会事務局
広報室 松坂彰子 TEL:03-4571-2810 E-Mail: shouko.matsusaka@j-hr.or.jp

以上